

## はじめに

わが国における急速な少子高齢化の進行による人口構成の変化は、労働力人口の減少による経済活力の低下とともに、核家族化の進展や共働き家庭の増加、地域のつながりの希薄化など、子育て家庭をめぐる環境にも大きな変化をもたらしています。子ども・子育て支援が質・量ともに不足することで、子育ての負担や不安、孤立感が高まっており、行政や地域社会をはじめ、社会全体で支援していくことを通じて、安心して子育てができる環境を整えることが求められています。



本市では、平成27年に「子ども・子育て支援新制度」が本格的にスタートするにあたり、「伊勢市子ども・子育て支援事業計画（平成27年度～平成31年度）」を策定し、地域の実情に応じた「質の高い幼児期の学校教育・保育の提供」、「保育の量的拡大・確保、教育・保育の質的改善」、「地域の子ども・子育て支援の充実」に取り組んできました。

しかしながら、計画策定後の法制度の改正や新たな国の方針のほか、さらなる少子化の進行や有配偶女性の就業率の上昇に伴う保育需要の拡大等、社会情勢やニーズの変化に伴う様々な課題があり、これまで取り組んできた「伊勢市子ども・子育て支援事業計画」を検証し、その見直しを踏まえ、課題の解決に向けて子育て支援施策を総合的、かつ計画的に推進するため、この「第2期伊勢市子ども・子育て支援事業計画」を策定いたしました。

本計画の基本理念である「つながりで 子どもの笑顔と健やかな育ちを実現するまち いせ」には、家族にとってはもとより、伊勢市にとっても大切な子どもを地域社会全体で育ていきたい、笑顔あふれるものにしたい、という思いをこめています。実現に向けた子ども・子育て支援のさらなる充実を図ってまいりますので、引き続き皆様方のご支援、ご協力をお願いいたします。

結びに、本計画の策定にあたりご尽力いただきました「伊勢市子ども・子育て会議」の委員の皆様をはじめ、子ども・子育て支援に関するアンケート調査やパブリックコメントなどを通じて、貴重なご意見、ご提言をいただきました市民の皆様方に心から感謝を申し上げます。

令和2年3月

伊勢市長 鈴木 健一